

Popol Vuh マヤ創世記 ノート

後藤王重 ごとうきみえ

プラシタス ニューメキシコ

harmonion@gmail.com

www.harmonion.com

www.harmonion.com/japanese.html



Introduction

Popol Vuh の意味 “**Council Book**” “**Place to see**” Council 話し合う、相談する本。
Place to see なにかあったら見る本。

語源 古フランス語 ラテン語 Concilium Con は共にを意味する。 呼び集める、会議、
招集する。 マヤの人々、アメリカ・ネイティブの人々は Council 合議する。 叡智をもち
よる。

神々はひとがかれらの Equal イコール の存在となることを意図されなかった。 神々は
人の Sight ビジョンを 明らかなもの（物理的な目に見えるもの） 近くのものを見るに
制限した。

それでも 神々はひとに 近視 近眼 (Nearsightedness) を越える Means 手段を与えた。
もっと遠く、過去、未来、もっと深く、見えないものを 観る 手段を与えた。

それは 望遠鏡などのものではない。 クリスタルのような Gazing Tool ではない。 それ
は 本 Book (Knowledge) である。 Popol Vuh “Council Book” がそれである。

Book = 知識、叡智、情報 を通して ひと は 真理を知る。 過去、未来、見えないもの
を観る。 見えない世界 Realms を知る。 Truth shall set free. 真理は真の自由をもたらす。

マヤ文明のルーツは Olmec オルメク文明 1200 BC に遡るかもしれない。 オルメクの
人々の頭像はひとの背丈よりも高い。 顔はアフリカ風である。 オルメクの人々はジャイア
ンツ 巨人であったのか？ イースターのモアイの人々ともつながるかもしれない。 ニュー
メキシコ Cabezon Peak キャベゾン・ピークは 滅びた巨人の頭という伝説がある。 オ
ルメク ジャイアンの 頭からもしれません。



オルメク ヘッド



ニューメキシコ キャベヅン・ピーク ジャイアンツの頭

Lake Atitlan, Guatemala 創世のウォーター

原初 Atitlan 湖の水から 地が現れた



Soul is the sparks of light.

魂は閃光。すばやく 力強く またたく ひかり

(ひかりは永遠 たましいは永遠)

Quiche の人々がマヤの叡智を守った

コロンブスにより 1492年近代ヨーロッパはアメリカを発見した。コンキスタドールやカソリックの司祭たちはマヤの土地、財産、叡智、知識を破壊、略奪をした。500年の間。

Guatemala Quiche の人々はマヤの叡智を守り通した。 叡智を継承してきた。 1992年ごろになり、マヤの人々は再びマヤの叡智を地球に公開する時が来たことを知る。 マヤの叡智が世に再び現れたのは20年に満たない。 わたくしたちはこれからより深くマヤの叡智を理解していく。 マヤとチベット、インド（ナーガ 蛇ピープル）、エジプト、ギリシャとのつながりも解明されていく。

チベット、インド、エジプトとつながりを持つ日本人は多い。 日本人の多くもマヤの叡智にふれていくことになる。 日本人の多くが、自分がサーペント 蛇のオリジンを持っていることを思い出している。 サーペントのエネルギーは、**Double-Helix** で ひとの **DNA** のエネルギー。 ひとの **DNA** から叡智が覚醒していく。 深く。

フィジカルになにかある時、エナジェティックにもなにか存在する。 フィジカルな**2重螺旋のDNA**があるところ、エナジェティックな**ひかりのDNA**らせんも存在する。 ひとの中から**ひかりのDNA**が覚醒する。 ひかりの能力が出てくる。 すなわち 宇宙力 星の力 自然の力が出ている。 宇宙 星 自然と一体となって生きようとするひとが増える。

ビーナスの再生 Net の日

明けの明星としてビーナス 金星が再生するのは、**Net (E 網)**の日である。 人生において、網（ネット）にからまりとられて、身動きができないこともある。 **Emotionally Stuck** 感情的に自分をおいつめてしまうこともある。 ネット（複雑な自分、ファミリー、先祖のカルマ パターン 癖）にからまりとられて、体やこころ、意識の自由を失うこともある。 体やこころに障害が起ることがある。

そういう時 耐え忍ぶ。 **Endurance & Patience**. 鍛えられ強くなるチャンス。 いつの日か、ビーナスの再生が起る。 愛、生命、アート、**Creativity** 創造性に満ちた人生、豊穡な人生が戻ってくる。 ビーナスは、愛、慈愛、美、知性、調和、平和、アート、スピリチュアルにもマテリアルにも豊穡、闘い、**夜の航海をもナビゲートする**パワー・天分を象徴する。

ビーナスの一面 地球のナビゲーターとしての役割は、オリオンの三ツ星（宗像 海人 三姉妹）、シリウス（狼星）、スピカ（麦の穂）にもつながる。 こうした星のエネルギーと深くつながるひとは多い。

52 年サイクル

マヤ・カレンダーのひとつの周期は52年。 ひとは52年生きてワン・サイクル。 昔は、あるいは今もアフリカなどの国では、寿命は50年くらいです。 今は52年生きてやっとひととおりの人生のいろいろを経験できるという感じでしょう。 52歳の誕生日は、次の52年あるいは余命をどう生きていくかの節目のようです。

Two Minds ふたつの心



セレモニー・サイト 日の出

マヤの人々とアメリカ サウス・ウエストの人々はつながります。
アナサジ、アステカ、プエブロ、ホピ、ナバホ・・・つながります。

2010年8月ナバホのセレモニーに招待を受けました。 出席いたしました。 メディシン・マンも夜通しで参加されるセレモニーです。 Holy People (Dine スピリット) も参加されます。

セレモニー・サークルで、**Two Minds** 二心 もって望むもの、**Holy Spirit** にノックアウトされること、あります。

Two Minds Two Hearts にはいろいろなケースがあるでしょう。 ひとには **Two Hemisphere** ふたつの半球 **2面性 Duality** あります。 左脳と右脳、左半身と右半身、左手と右手、考え (**Thoughts**) と感情 (**Feeling, Emotions**)、本音と建前、理想と現実、夢と現実、考えと行動、選択できないときの葛藤、迷い、ふたつにひきさかれる思い、くいちがい、失望、ギャップ、見えない進路、ストレスを受けてのからだ、こころ、精神の疲労・・・

セレモニーで、自分の中で何かが ずれている時、くいちがっている時、**Holy Spirit** にノックアウトされること、あります。 スピリットはみのがさない。 わたくしの場合、メディスン・マンがセレモニーを始めた時に、パニック・アタックのようなことが起り、屋外に出ることとなりました。 そのまま横になり、トイレとの往復しきり・・・ **Massive Cleansing** 大きなクレンジング、浄化がおこったようです。

日の出になり、少し元気は回復しました。 ナバホの人々が、大丈夫と元気づけてくれました。 こころとからだは弱っており、**Holy Spirit** にノックアウトされたわたくしに、やさしい言葉をかけてくださいました。 こころから感謝です。

Two Minds ではなく、いつも **One Mind** でいたいものです。 それでも時として **Two Minds Two Hearts** 自分のなかでなにかくいちがいが出てくること、あるでしょう。 そういう時、たとえば **Holy Spirit** が遠慮なく、容赦なく！ ノックアウトしていただきます。 そういう時はダウン、降参でよいのではないのでしょうか？ 休息 タイム・アウト。 しばし時間をください。

One Mind 自分は本当に何をしたいのか？ どう生きたいのか？ どのようにして人、世、他の **Realms**、宇宙、地球、星、自然の役にたちたいのか？ どのような人々、存在たちと、どのように協力をして、どのようなワークをしていきたいのか？ まじめすぎもよくない。 気を抜いていこう。 バランス。 気合と気楽。

もう一度、自分を **One Mind One Heart** ひとつのこころに戻して、心機一転すすむこととします。

セレモニーが終わり、記念のコーン・ケーキ（とうもろこしのケーキ）いただきました。 帰りに、ウインドウ・ロックに立ち寄りました。



ウインドウ・ロック アリゾナ

ナバホ・ネイション キャピタル

ひだりの まる ○ がなにか かわいらしい

前夜のクレンジングと **Purification** のお礼を言いました。

コーン・ケーキも **Offering** 差し上げました。

思い出せば、**1979**年はたちの時、始めてアメリカに来て、アリゾナ グランド・キャニオンを訪問しました。 壮大でした。 土地もスピリットも壮大でした。 その時買い求めたおみやげは、ナバホの砂絵 **Big Thunder** 雷のスピリット でした。

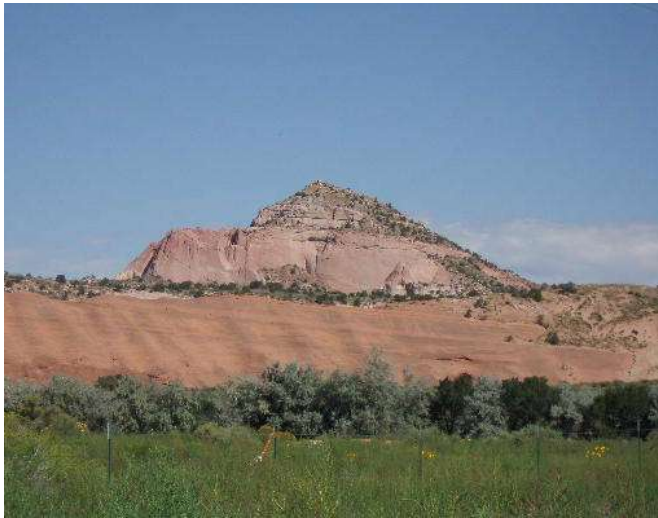
ナバホの、ネイティブ・アメリカの 雷神 **Big Thunder** のような存在も、ずっと見守ってくださっていると感じます。 雷は、光、雨、嵐をもたらします。 豊穡の雨、ノックダウン

する Lightning 光、クレンジングと浄化の嵐、ファイアでありウォーターであり光であり・・・

5 という数字 5つのエレメント

スピリット（ひかり）、ファイア、エアー、ウォーター、アース

5つのエレメント 自分のなかで いつも ダイナミック 平衡 (Equilibrium) である存在でいたい。



Red Rock Pyramid Gallup New Mexico

ナバホ・キャピタルの近くです。

自然のレッド・ロックです。

ピラミッドに見えます。

Navajo Code Talkers



At Iwo Jima, Major Howard Connor, 5th Marine Division signal officer, had six Navajo code talkers working around the clock during the first two days of the battle. These six sent and received over 800 messages, all without error. Connor later stated, "Were it not for the Navajos, the Marines would never have taken Iwo Jima." (Wikimedia)

ナバホのコード・トーカーたちは 第二次世界大戦 硫黄島の闘いで重要な役割をしました。彼らのメッセージを日本軍体は解読できませんでした。

ナバホと日本のつながりを想います。

マヤのヒエログリフも暗号のようです。 今も解読が続けられています。

Kukulcan Feathered Serpent

Kukulcan = Feathered Serpent 羽のはえたサーペント (蛇)



Chichen Itza Kukulcan ピラミッド

マヤの Priest が ピラミッドの階段場で祭祀をおこなう。

Kukulcan 羽あるサーペントを呼ぶ。 地に招聘する。

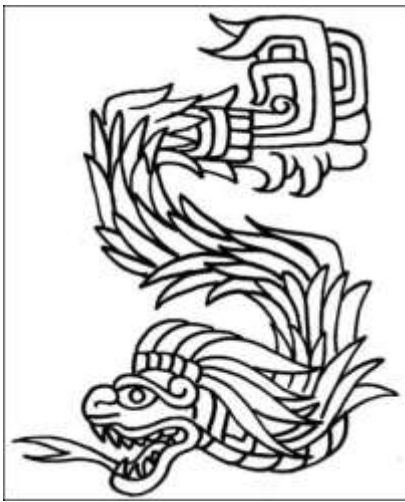
Kukulcan 羽あるサーペントは応え、天空から降りてくる。

ピラミッドの階段をすべり降り、地に降りる。

地に 雷、雨をもたらす。 豊穰をもたらす。

コーン（メイズ）は今年も豊作

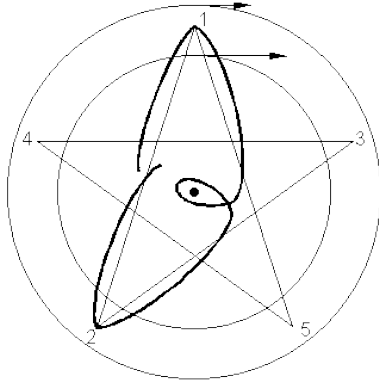
星が天空に描く軌跡（Trajectory）は、羽あるサーペントが宙を飛んでいるように観える。



Quetzalcoatl Feathered Serpent

羽が全身にはえているサーペント 蛇

ビーナスの軌跡 ペンタクル 8年サイクル



Actual orbit of merged Venus-Earth planet. Study
© 2005 www.HyperFlight.com

ビーナス 金星は 8年周期で もとの位置に戻る。
(地球の Observer から見て)

8年周期で 五芒星 ペンタクルの形を 天空に 描く。

五芒星 ペンタクルは ビーナスのシンボル



マヤの人々は、数ある星、惑星のなかで、とくにビーナスを Precious に思い、観測をした。

マヤの人々は Astronomer Astrologer Star Gazer Star Observer
星を観る人々でもあった。

オリオン座をマヤの人々は 亀 Turtle と呼ぶ。

オリオンの三ツ星は 亀 Turtle

亀はゆっくりと 着実 優しく 地にすむもの 水や海にすむもの

オリオンの三ツ星は 宗像三姉妹のような海神 海人にもつながると思います。

知れば知るほど、世界のいろいろは つながっていきます。

現在マヤの人々は七百万人いる

おもにメキシコ、Guatemala、Honduras、ベリーズ、エルサルバドルに住んでいる。

紀元前 3000 年から西暦 2012 年まで、5000 年続いた第 4 の太陽の時代が終わろうとしている。

ひとは4つのエレメントに加えて、第 5 のエレメントを身につけようとしている。

第 5 のエレメントは Ether 宇宙の大気 星の気 自然・地球の大気 大いなる気。

4つのエレメント ファイア アース ウォーター エアー の動的平衡 ダイナミック・バランスがとれていることがまず第一。 **バランスは安定ではない**。 ダイナミックにいつも動きながら、変化しながら、すべてのエレメント 自分の要素 人生の要素が均衡 平衡が保たれていること。 いつも動いて変化をしているから、各自分のエレメント要素なり、人生のエレメントが、だいたいにおいて 平衡が保たれていればよいのではないのでしょうか？ 毎日均衡は変わるのだし……。 このあたり アバウト でいきましょう。

4つのエレメントの確固たる土台のもとに、第 5 のエレメント (Ether) は醸成される。 意識のうちに、意識のうちから醸成される。 土台が整っていないければ、Ether 大気のパワーあっても、どこか地に足がついていないひととなる。 どこか上の空のひととなる。 注意。 スピリチュアル、意識の発達は、フィジカル、Emotional、生活基盤の土台があってこそ。

2012 年 12 月 21 日の第 5 の太陽の時代の始まりにそなえ、マヤの人々は、1992 年からその叡智をパブリックに公開することを始めた。 これからますますその叡智が、ひとに知られていくこととなる。

マヤ・ネイティブの多くのひとは、マヤ・ネイティブの言葉を忘れた。 多くのマヤ・ネイティブの人が、マヤの言葉 = マヤの誇り を思い出そうとしている。 500 年にわたる、文

化、土地、財産の略奪、迫害の傷は深いことと想います。ヒーリングの旅、応援したく願います。

ナマステ 合掌 ピース

ひかり チャンネル ごとうきみえ

プラシタス ニューメキシコ

Kimie Goto

Counselor & Healer

Placitas, New Mexico

harmonion@gmail.com

www.harmonion.com

www.harmonion.com/japanese.html

Reference

Popol Vuh The Definitive Edition of the Mayan Book of the Dawn of Life and the Glories of Gods and Kings translated by Denis Tedlock A Touchstone Book 1985 and 1996

Tales of the Maya Skies Chabot Space and Science Center

<http://www.mayaskies.org/>

<http://www.chabotspace.org/index.htm>